

社会科 シラバス 第3学年

教科の目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを目指す。

学年の目標

・我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
・社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
・社会的事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

評価の観点

月	内容のまとめり	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	開国と近代日本の歩み	明治維新 日清・日露戦争と近代産業	・明治維新によって近代国家の基礎が整えられ、人々の生活が大きく変化したことを理解している。 ・立憲制国家が成立して議会政治が始まるとともに、我が国の国際的な地位が向上したことを理解している。 ・我が国で近代産業が発展し、近代文化が形成されたことを理解している。	・日本の政治・経済・外交の動きを世界の動きと関連させながら考え、当時の日本のとるべき道を判断し、自分の意見を述べている。 ・各国の動きについて、公正に判断し、自分の意見を述べている。	・議会政治の始まりと国際社会のとの関り、近代産業の発展と近代文化の形成について、より良い社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
5	二度の世界大戦と日本	第一次世界大戦と日本 大正デモクラシーの時代 世界恐慌と中国との戦争	・二度の世界大戦とその間の出来事について、世界の動きと関連させながら、概要を理解している。 ・二度の世界大戦のころの日本の政治・経済・社会・文化の動きについて理解し、知識を身につけている。 ・表やグラフなどを用いて、客観的な統計から、当時の情勢を読み取っている。 ・写真や日記、記録などの資料を活用し、当時の国民の生活の様子を読み取っている。	・各国の動きについて、公正に判断し、自分の意見を述べている。 ・日本の政治・経済・外交の動きを世界の動きと関連させながら考え、当時の日本のとるべき道を判断し、自分の意見を述べている。	・二度の世界大戦について関心を持ち、なぜこのような戦争を引き起こしてしまったのかについて、追究する態度を身に付けている。 ・戦争体験者など、当時を知っている方々に話を聞く機会を、意欲的に利用しようとしている。
6	現代の日本と私たち	第二次世界大戦と日本 戦後日本の出発 冷戦と日本の発展 新たな時代の日本と世界	・第二次世界大戦後に行われた日本の諸改革により、日本はどのように再建を遂げていったのかを、苦しい状況の中、男女普通選挙の確立や、日本国憲法などを制定し民主化政策を進め、冷戦の中、国際社会の復帰を果たしたことなどを基に理解している。 ・現代の日本の役割が国際社会で大きくなってきたことを、高度経済成長や沖縄返還などの国際社会との関わりの深まり、冷戦終結後の世界情勢を基に理解している。	・戦後の日本の歩みについて、国内外の様子など様々な事象を関連付けながら、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・現代の日本がどのような特色を持つのかについて、現代の日本の歴史を大観し、その特色を多面的・多角的に考察している。	・現代の日本の特徴を理解しようと、現代の我々とのつながりに着目しながら、学習の見通しを立て、課題の解決に取り組もうとしている。
7	現代社会と私たち	現代社会の特色 私たちの生活と文化 現代社会をとらえる枠組み	・現代社会の特色や、現代社会における文化の意義や影響について理解し、その知識を身に付けている。 ・現代社会を捉える見方・考え方の基礎として、対立と合意、効率と公正などの見方・考え方があることに気付き、それらを理解している。 ・様々な写真や統計資料などから、現代社会の特色や、現代社会における文化の意義や影響について読み取り、図表や短文などに適切にまとめている。	・現代社会の特色や、現代社会における文化の意義や影響について、地理的分野や歴史的分野の学習内容や、それぞれの事象の位置や空間的な広がり、推移や変化、相互の関連などに着目して多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・社会生活における物事の決定の仕方や決まりの意義について、身近な生活と関連付けて捉えたり、対立と合意、効率と公正の見方・考え方に基づいてまとめたり、発表したりしている。	・現代社会の特色や日本の伝統や文化に対する興味・関心を高め、それらが社会生活にどのような影響を与えているか、また、自分たちはその中でどのように生きていくべきかなどについて、意欲的に考えている。 ・現代社会を捉える見方・考え方について、具体的な事例を基にした活動に意欲的に取り組み、これ以降の公民的分野の学習に対する関心を深めている。
9	日本国憲法と私たち	民主主義と日本国憲法 基本的人権の尊重 法の支配を支える仕組み	・人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深め、法の意義を理解している。 ・民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であることを理解している。 ・日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本的原則としていることについて理解している。 ・日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解している。	・対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、「ちがいのちがいがい」などの対話的な活動を通じ、我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について、多面的・多角的に考察、表現している。	・現代の社会的事象を踏まえ、人間の尊重についての考え方や日本国憲法の基本的原則などについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
10	政治と私たち	現代の民主政治 国の政治の仕組み 地方自治と私たち	・国や地方公共団体の政治の仕組みについて、主権者の立場から理解し、その知識を身に付けている。 ・多数決の原理や政党の役割、公正な裁判の保障などについて理解するとともに、国民の政治参加の重要性を理解している。 ・国や地方公共団体の政治に関する新聞記事や法令、判例などの資料を様々な方法で収集・選択し、政治や社会の現状や課題についての的確に読み取ったり、文章や図表などにまとめたりしている。	・政治に関する様々な事象や課題について、対立と合意、効率と公正などの観点から多面的・多角的に考察するとともに、主権者としての政治参加の在り方について考えている。 ・選挙や裁判、地方自治などに関する多様な活動を通して、自分の意見を根拠を挙げながら分かりやすく説明するとともに、多様な価値観を尊重しながら話し合いを行い、その過程や結果を適切に表現している。	・国や地方公共団体の政治に対する関心を高め、学習に意欲的に取り組んでいる。 ・民主政治をより良く運営していくためにはどのような仕組みが必要か、また自分は政治にどのように関わっていけばいいか、意欲的に考えている。

11	経済活動と私たち	経済の仕組みと消費 企業と生産 市場経済と金融の仕組み	【地方自治と私たち】 ・国や地方公共団体の政治の仕組みについて、主権者の立場から理解し、その知識を身に付けている。 ・多数決の原理や政党の役割、公正な裁判の保障などについて理解するとともに、国民の政治参加の重要性を理解している。 ・国や地方公共団体の政治に関する新聞記事や法令、判例などの資料を様々な方法で収集・選択し、政治や社会の現状や課題についての確に読み取ったり、文章や図表などにまとめている。 【経済分野】 ・身近な消費生活を中心に、経済活動の意義について理解している。 ・市場経済の基本的な考え方について理解している。その際、市場における価格の決まり方や資源の配分について理解している。 ・現代の生産や金融などの仕組みや働きを理解している。	【地方自治と私たち】 ・政治に関する様々な事象や課題について、対立と合意、効率と公正などの観点から多面的・多角的に考察するとともに、主権者としての政治参加の在り方について考えている。 ・地方自治に関する多様な活動を通して、自分の意見を根拠を挙げながら分かりやすく説明するとともに、多様な価値観を尊重しながら話し合いを行い、その過程や結果を適切に表現している。 【経済分野】 ・対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、個人や企業の経済活動における役割と責任や、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について、現代社会の生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	【地方自治と私たち】 ・国や地方公共団体の政治に対する関心を高め、学習に意欲的に取り組んでいる。 ・民主政治をより良く運営していくためにはどのような仕組みが必要か、また自分は政治にどのように関わっていけばよいか、意欲的に考えている。 【経済分野】 ・市場の働きと経済について、現代社会に見られる課題の解決に向けた学習を通して、主体的に社会に関わろうとしている。その際、自らの学習を振り返りながら調整し、粘り強く取り組んでいる。
12	経済活動と私たち	財政と私たち 日本経済の課題とこれから	・勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の精神について理解している。 ・社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、消費者の保護について、それらの意義を理解している。 ・財政及び租税の意義、国民の納税の義務について理解している。	・対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して国や地方公共団体が果たす役割や、財政及び租税の役割について、現代社会の生活と関連付けて多面的・多角的に考察、構想したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	・国民の生活と政府の役割について、現代社会に見られる課題の解決に向けた学習を通して、主体的に社会に関わろうとしている。その際、自らの学習を振り返りながら調整し、粘り強く取り組んでいる。
1	国際社会と私たち	国際社会のしくみ 地球的課題とその解決	・世界平和の実現と人類の福祉の増大の観点から、国家相互の主権の尊重と協調、各国民の相互理解と協力の重要性について理解している。 ・地球環境問題や貧困問題などの国際社会の諸課題や、その解決のための様々な取り組み、日本の国際貢献について理解し、その知識を身に付けている。 ・国際社会の現状や諸課題に関する様々な資料を収集し、学習に役立つ情報を適切に選択し、的確に読み取ったり、図表などにまとめている。	・様々な統計資料や写真、新聞記事などの読み取りを通して国際社会が抱える諸課題を見だし、対立と合意、効率と公正などの観点を踏まえて多面的・多角的に考察するとともに、それらを解決する方法について、持続可能な社会の観点からの確に表現している。 ・国際社会の諸課題やその解決への取り組みについて考察し、過程や結果を適切に表現したり、発表や討論などを通して考えを深めたりしている。	・国際社会の抱える諸課題に対する関心を高め、課題を意欲的に追究し、より良い地球社会を築くための解決策について考え続けようとする態度が見られる。
2.3			・持続可能な社会を形成するために解決すべき社会の課題として、環境・エネルギー、人権・平和、伝統・文化、防災・安全、情報・技術などがあることを理解し、それらの知識を身に付けている。 ・持続可能な社会を実現するために解決すべき社会の課題とその解決策について、これまでの社会科で学習した知識と関連付けて理解している。 ・持続可能な社会を実現するために解決すべき社会の課題を探究するにあたって、様々な資料を適切に収集・選択し、活用している。	・持続可能な社会を実現するために解決すべき社会の課題について、地理的分野や歴史的分野の学習内容も踏まえて多面的・多角的に考察している。 ・持続可能な社会を実現するために解決すべき社会の課題の解決について、社会参画の観点で捉えるとともに、対立と合意、効率と公正などの観点を踏まえて考察している。 ・身近な地域の生活や日本の取り組みとの関連性に着目し、地域的な視野と世界的な視点に立って探究を深めている。	・持続可能な社会を実現するために解決すべき社会の課題に関心を持ち、その解決策を意欲的に探究している。 ・より良い社会を築くために自分に何ができるか考え、社会参画しようとする態度が見られる。
評価方法			定期テスト、その他のテスト 授業での取り組み	定期テスト、その他のテスト 授業での取り組み	授業での取り組み、グループ活動の様子、提出物の内容

学習の進め方

〈グループ学習〉 ・課題にしっかりと取り組み、分からないことはグループの仲間に聞く。 ・グループの仲間に質問されたことを相手が分かるように丁寧に伝える。 〈家庭学習・テスト勉強〉 ・社会的な事象に関心を持ち、授業で学習した内容との関連を見出す。 ・ワークで学習した範囲を復習する。 ・興味関心を持った事象について、自主勉強ノートにまとめる。	
---	--